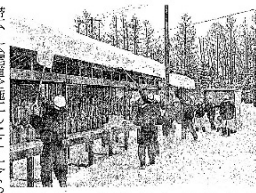


宮坂建設工業が地蔵尊周辺を除排雪 交通安全への意識高めて 重機と手作業で熱心に



【帯広】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）は二十七日、地蔵尊周辺の「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺で除排雪作業を行った。二十一日から二十三日にかけて発生した低気圧の影響で、帯広の周辺には除排雪量が五十センチを超える大雪となっていたため、社員十九人が参加して、重機と手作業を進めた。

同社では、創業者の宮坂壽文氏の遺訓である「世の人の役に立つには」の精神に基き、社員が積極的に地域貢献活動に取り組んでいる。道道帯広空港線沿いの「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」の除排雪作業の一環として、

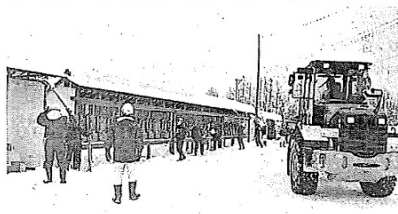
平日を迎えた。今シーズ初めとなるの口、タイヤシヨベル三台を動員、重機で作業できない部分は社員が手作業を進めた。

当日の大雪の影響で、管内でもまた降雪があり、地蔵尊周辺には、膝丈の雪が積もって、大のうま雪が積もっていた。

木幡彰夫常務は、社員はもとの、付近を通行するドライバーが交通安全意識を高めて、交通事故の発生が少しでも高まればと期待を寄せた。

同社の除排雪作業は、正月用の除排雪機を保有するため、訪れた新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊には「観音の一本針」には公共トイレがないため、地蔵尊のトイレを利用するところも多い。お参りに来る人も多いので、毎年、宮坂建設工業さんは除排雪を行って、大変助かっている」と話していた。

交通安全地蔵尊 周辺を除排雪 宮坂建設工業



【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は27日、帯広市大正町にある新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊周辺で除排雪の地域貢献活動をした。写真。

道道帯広空港線沿いにある地蔵尊周辺は、道道の除雪作業で雪が積まれるため、交差点の見通しが悪い。同社では近隣地区でさまざまな現場を手掛けてきたことから2004年から定期的に除排雪を手掛けている。

帯広では23日に大雪が降ったため、作業することにした。木幡彰夫常務をはじめ19人が参加。タイヤシヨベル1台とダンブ3台を使って排雪した。

木幡常務は「年末年始を迎え、とちり帯広空港を利用する帰省客などで交通量が多くなる。交通事故の防止に役立てば」と話していた。

空港線沿い地蔵 周辺雪払い奉仕 宮坂建設工業

【帯広市、宮坂寿文社長】は27日、大正町内の道道帯広空港線と市道の交差点にある「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺で行った。写真。

同交差点の除排雪作業は同社が帯広・広尾自動車道の建設工事を担当したことをきっかけに、交通安全事故の減の願いを込めて2004年から実施している。

この日は同社社員ら約20人が参加し、スコップやダンブカーなどを使って作



業。同社の木幡彰夫常務は「雪がたまると見通しが悪く危険になる。事故防止に役立てれば」と話していた。（中島佑斗）